

2023 Japan National Team Report ”サポーター”



報告者氏名	渡辺 美和
大会名	2023 Optimist European Championship
開催地	Thessaloniki, Greece
大会期間	7/15~7/22

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	とにかく暑かった。ハーバー内の建物にはクーラーがなく、日陰にいてもとても暑く、全員、水を飲む量が半端なかった。途中、コーチボートも暑すぎるとのことでパラソルを購入。ハーバーには、監督とコーチ飲みしか入れなかったが、昼食などは一緒にとることが可能だったため、日本チームはサポーターの待機場所でミーティングやご飯、風待ちをした。
宿泊場所	選手は、ハーバーからバス30分のホテルだったので、母たち四人はハーバーから500m程のところにと宿を取り、自炊をした。ペットボトルの水を毎日大量に用意するのに、宿とハーバーの間に大きなスーパーがあり便利だった。(パラソルもスーパーで買った)
大会のサポーターへの対応は	皆、親切だった。 大会中に、サポーター向けのテッサロニキ無料観光ツアーが企画され、参加してきた。3時間ほどで世界遺産などにも案内してくれた。
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	初めの数日は疲れと食べ物の違いから元気がない子もいたが、日程後半は皆に笑顔が見られ、順応していったように思う。
サポーターとして気をつけたことは？	毎日の暑さ対策が主なサポートだった。水、氷、麦茶、ポカリなどの準備。暑すぎて、おにぎりより、そうめん、きゅうりの浅漬けが人気だった。現地のランチパックもシンプルなサンドイッチで食べやすかったが、少し飽きてくる様子も見られた。
海外の選手を見て感じたことは？	日本以外で親たちが毎日サポートしている国はほとんどなかった。荷物がスッキリまとまっている印象を受けた。
日本の選手を見て感じたことは？	海外の選手とも積極的に交流していて、楽しんでた。 食べ物の好き嫌いをなくした方が、これからのためにも良いと思う。

Spare dayの 過ごし方は？	大会前は、チャーターボートを事前に借りて少し練習。風もなく、選手たちはハーバーから飛び込んで海で泳いで遊んでいた。（途中から遊泳は禁止された） 大会中は自由な日はなかった。
日本チームとしての 課題はありましたか	選手たちはだんだん心構えなど、学べたと思いますが、もう少し出発前にできることもあったのではと思いましたが、初めてで何もわからずに行ってしまった感じです。
JODAへの要望	全員初めての海外の大会で、子供にも親にも、もう少し事前に心構えや情報が欲しかった。日本以外の国はほぼ、コーチと監督が連れてきていて、選手も慣れていた分、日本選手が何もかも初めてで右往左往したが、頼れるコーチ監督がいらしてくれたので助かった。今回、コーチをお願いしていなかったら、本当に大変だったと感じました。 日本チームはプレ大会があったことも知らず、他国チームはプレ大会から現地入りしていたがそれも行ってから初めてわかりました。
その他	日本人の英語力の無さは際立っていたと思う。エントリー時や、大会中の細かい大会側とのやり取りなど、英語ができる人がいたので助かったが、負担が大きくなったと思う。

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会